

普及活動情勢報告（令和4年4月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

「ムリ・ムダ・ムラ」をへらして作業効率をアップ！ ～ニラの調製作業の改善事例を紹介～



改善事例を紹介する当課職員

2月から3月にかけて、管内のニラそぐり機導入農家7戸を対象に、トヨタの「カイゼン」手法を用いた調製作業の改善事例を紹介するとともに、実態を聞き取りました。

農家からは、「事例のようにコンテナを置く台は身体の負担のない高さに調整している」「機械の音が大きいため、ヘッドフォンを使っている」などの工夫を聞き取ることができ、作業の効率化に対する意識の高さがうかがえました。

今後は、管内農家の工夫内容も含め、改善の提案や取組を支援していきます。

久保川集落と農地を将来にわたり守っていく組織に ～久保川集落営農組合設立総会～



久保川集落営農組合の組合員

3月20日、津野町久保川地区集会所で、久保川集落の住民や関係機関など計29人が参加して、久保川集落営農組合設立総会が開催されました。

会では、当課が作成を支援した組合同規約、事業計画及び収支計画等が議案として協議、承認され、集落営農組織が設立しました。

組合長からは、「この組織の活動が将来にわたり続いていけるよう、担い手を育て、皆の協力を得ながら頑張りたい」と決意表明がありました。

当課は、今後も関係機関と連携して、作業受託の体制整備に向けた活動等への支援を実施していきます。

適正な剪定技術を身につけよう！ ～JA 高知県津野山ユズ部会剪定講習会～



剪定のポイントを学ぶ部会員

3月25日、津野山ユズ部会が、梶原町下西の川と津野町力石のユズ園地2ほ場で剪定講習会を開催し、合計29人の農家が参加しました。

果樹担当専門技術員が、樹勢に応じた剪定のポイント、徒長枝や同年枝など剪定する枝の特徴を、実演を交えて講習しました。

農家からは、伸び上がった樹高の切り戻しや剪定する枝の見極め方など、活発に質問がありました。

当課は今後も農家の技術向上への部会活動を支援します。また、令和4年度に果樹産地振興計画を策定し、産地の維持発展に取り組んでいきます。

より良い茶を生産しよう！ ～JA 津野山茶生産組合総会～



熱心に聞きいる組合員

3月29日、JA高知県津野山営農経済センターで、JA津野山茶生産組合が総会を開催し、組合員、荒茶取引先や関係機関の職員等25人が出席しました。

組合長から「組合員が減って厳しい状況だが、良い茶を作っている」と挨拶がありました。取引先から「茶販売はコロナ禍で厳しいが、津野山茶は香りが高く、高品質なので販売を頑張っていきたい」と報告がありました。

当課からは、高齢茶樹の若返りのための台切り作業等に関する茶改植等支援事業を説明し、組合員は関心を示していました。

当課は、本年度に県計画推進課、津野町、JA高知県など関係機関と連携して、津野町茶業振興計画（仮称）を策定し、津野山茶の振興を支援していきます。

津野町の農地・担い手について意見交換 ～振興センターと津野町農業委員会との意見交換会～



津野町農業委員と意見交換する当課職員

3月30日、津野町役場で、津野町農業委員会との意見交換会を開催し、19人が出席しました。

当課からは、基盤整備事業の概要や農地中間管理事業に係る協力金制度などについて情報提供しました。

意見交換会では、農地の利用状況確認の結果や「実質化された人・農地プラン」の内容等について情報共有ができました。

当課としては、定期的に意見交換会を実施し、関係機関との連携を強化して中山間地域の農業振興に取り組んでいきます。

収穫初期に向けた管理を確認しよう ～JA高知県津野山ミョウガ部会現地講習会～



基本となる栽培管理を説明する当課職員

4月11日、津野山ミョウガ部会が、津野町桑ヶ市地区のほ場で現地講習会を開催し、生産者16戸が参加しました。

当課から、かん水管理の重要性や病害虫対策等と、初夏に向けた栽培管理について指導しました。

生産者からは「ハウス内管理の指標を確認したい」「害虫侵入に有効な対策は何か」といった質問がありました。

当課は、今後も現地講習会や個別指導、視察研修等を通じて栽培・品質管理技術の向上を図ります。

産地全体で品質向上に取り組もう ～立目ポンカン出荷組合～



真剣に話を聞く組合員

4月11日、立目集会所で、立目ポンカン出荷組合が、組合員8人が参加して病害虫の防除対策検討会を開催しました。

昨年、同組合では炭そ病による落葉や落果などの被害が発生し、品質低下により出荷量が減少しました。

当課から、炭そ病を中心にポンカンの病害虫防除について情報提供し、組合員と対策について検討しました。

組合員からは「農薬の特性を理解して防除に取り組みたい」「枯枝の除去もしっかりやりたい」などの前向きな意見が出ました。

当課は、今後も病害虫防除や栽培技術などの情報提供を行い、同組合の取組を支援していきます。